

【公開日】 2026 年 6 月 11 日

作成日 2023 年 5 月 23 日
(最終更新日 2026 年 5 月 11 日)

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号 : 2026-4-033

課題名 : 東北メディカル・メガバンク計画コホート調査における未破裂脳動脈瘤の検討

1. 研究の対象

東北メディカル・メガバンク機構脳と心の健康調査にてMR Angiography (MRA)が撮像されている約1万2000人

2. 研究期間

2023年6月 (研究実施許可日) ~2028年5月

3. 研究目的

本研究の目的は、東北メディカル・メガバンク機構の大規模コホートにおいて、MR Angiography (MRA)を用いて、脳動脈瘤の頻度、発生部位、大きさ、増大率、増大のリスク因子を明らかにし、最終的には動脈瘤発生リスクモデルの構築を目指すものです。同時にMRA画像の品質の確認: Quality Control (QC)を行います。MR Angiography (MRA)は、脳の血管の状態をみるための撮影法であり、脳動脈瘤の有無はその目的として最も重要なものの1つです。

4. 研究方法

脳と心の健康調査 (MRI) 調査の MRA における動脈瘤の発生部位、大きさ等を画質の確認を行いながら再読影し、東北メディカル・メガバンク機構大規模コホートにおける動脈瘤の発生部位、大きさ、頻度、増大率を明らかにします。なお、所見の検出率を上げるために、血管画像から脳動脈瘤の疑いを自動で見つけるプログラムを補助的に用います。既往歴・合併疾患としては、家族性、くも膜下出血有無、対症療法、喫煙、高血圧症、多嚢胞性腎などです。上記の情報取得後、1)過去に報告されている危険因子により動脈瘤リスク群をグループ分け (層別化) します。2) 層別化された動脈瘤リスク群の MRA 上の経時変化を評価します。3) 数理的血管分岐パターン分類と血管走行標準化、分岐点における数値流体力学による動脈瘤発生予測モデルの確立を行います。

5. 研究に用いる試料・情報の種類

MRI 画像

コホート情報 : 既往歴、採血 (検体検査) 情報、調査票情報、遺伝情報

6. 外部への試料・情報の提供

該当なし

7. 研究組織

本学単独研究

8. 利益相反（企業等との利害関係）について

本学では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。本研究は、科学研究費を使用し、企業等との利害関係はありません。

9. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者さんもしくは研究対象者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究対象者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：麦倉俊司

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 画像統計学分野
〒980-8574

住所：宮城県仙台市青葉区星陵町 1-1

TEL：022-717-7312 FAX：022-717-7316

E-mail：shunji.mugikura.d3@tohoku.ac.jp

◆個人情報の利用目的の通知

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先：「9. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

<人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 第9章第18の1>

<個人情報の保護に関する法律第21条の4>

- ①利用目的を本人に通知し、又は公表することにより本人又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を本人に通知し、又は公表することにより当該個人情報取扱事業者の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

③国の機関又は地方公共団体が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、利用目的を本人に通知し、又は公表することにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき。

④取得の状況からみて利用目的が明らかであると認められる場合

◆個人情報の開示等に関する手続

東北大学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、東北大学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口に提出するか又は郵送願います。詳しくは当機構HPよりプライバシーポリシーを確認の上、請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学東北メディカル・メガバンク機構プライバシーポリシー】

<https://www.megabank.tohoku.ac.jp/contact/privacypolicy>

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

<人を対象とする生命・医学系研究に関する倫理指針 第9章第18の1>

<個人情報の保護に関する法律第33条の2>

①本人又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合

②個人情報取扱事業者の業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合

③他の法令に違反することとなる場合

以下、過去に掲載を行っていた文書

作成日 2023 年 5 月 23 日
(最終更新日 2023 年 月 日)

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号 : 2023-4-045

課題名 : 東北メディカル・メガバンク機構コホートにおける未破裂脳動脈瘤

1. 研究の対象

東北メディカル・メガバンク機構脳と心の健康調査にてMR Angiography (MRA) が撮像されている約1万2000人

2. 研究期間

2023年6月 (研究実施許可日) ~2028年5月

3. 研究目的

本研究の目的は、東北メディカル・メガバンク機構の大規模コホートにおいて、MR Angiography (MRA) を用いて、脳動脈瘤の頻度、発生部位、大きさ、増大率、増大のリスク因子を明らかにし、最終的には動脈瘤発生リスクモデルの構築を目指すものです。同時にMRA画像の品質の確認: Quality Control (QC) を行います。MR Angiography (MRA) は、脳の血管の状態をみるための撮影法であり、脳動脈瘤の有無はその目的として最も重要なものの1つです。

4. 研究方法

脳と心の健康調査 (MRI) 調査の MRA における動脈瘤の発生部位、大きさ等を画質の確認を行いながら再読影し、東北メディカル・メガバンク機構大規模コホートにおける動脈瘤の発生部位、大きさ、頻度、増大率を明らかにします。既往歴・合併疾患としては、家族性、くも膜下出血有無、対症療法、喫煙、高血圧症、多嚢胞性腎などである。上記の情報取得後、1) 過去に報告されている危険因子により動脈瘤リスク群をグループ分け (層別化) します。2) 層別化された動脈瘤リスク群の MRA 上の経時変化を評価します。3) 数理的血管分岐パターン分類と血管走行標準化、分岐点における数値流体力学による動脈瘤発生予測モデルの確立を行います。

5. 研究に用いる試料・情報の種類

MRI 画像

コホート情報: 既往歴、採血 (検体検査) 情報、調査票情報、遺伝情報

6. 外部への試料・情報の提供

該当なし

7. 研究組織

本学単独研究

8. 利益相反（企業等との利害関係）について

本学では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。本研究は、科学研究費を使用し、企業等との利害関係はありません。

9. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者さんもしくは研究対象者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究対象者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：麦倉俊司

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 画像統計学分野
〒980-8574

住所：宮城県仙台市青葉区星陵町 1-1

TEL：022-717-7312 FAX：022-717-7316

E-mail：mugi@rad.med.tohoku.ac.jp

◆個人情報の利用目的の通知

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先：「6. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

<人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 第9章第18の1>

<個人情報の保護に関する法律第21条の4>

- ①利用目的を本人に通知し、又は公表することにより本人又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を本人に通知し、又は公表することにより当該個人情報取扱事業者の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合
- ③国の機関又は地方公共団体が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、利用目的を本人に通知し、又は公表することにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき。

④取得の状況からみて利用目的が明らかであると認められる場合

◆個人情報の開示等に関する手続

東北大学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、東北大学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口に提出するか又は郵送願います。詳しくは当機構HPよりプライバシーポリシーを確認の上、請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学東北メディカル・メガバンク機構プライバシーポリシー】

<https://www.megabank.tohoku.ac.jp/contact/privacypolicy>

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

<人を対象とする生命・医学系研究に関する倫理指針 第9章第18の1>

<個人情報の保護に関する法律第33条の2>

- ①本人又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②個人情報取扱事業者の業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③他の法令に違反することとなる場合